

明 倫

題字：横村正直

平成十六年五月二十日発行
明倫目録連合会公報委員会
発行部数2000部

第7号
04.5.20

鉾の道プロジェクト

アンケート結果

まちづくり委員会・井上成哉
立命館大学・中村伸之



北観音山（電柱・電線を消す）

『山鉾町から電柱・電線が消えた』
『……85%の人が願う。』

昨年十一月に、京都芸術センターにおいて「鉾の道プロジェクト」の展覧会を行いました。
これは、立命館大学八木研究室の皆さんが中心になって制作した新町通の景観シミュレーションを展示したもので、祇園祭の写真（ハケ所）とそこから電柱や電線を消した画像を比較したものです。
当日、展示をご覧になった百七十三名の方々にアンケートに答えていただき

ましたので、その結果の一部を報告します。

「電柱・電線を消して印象が良くなった」という意見が全体の85%を占め、圧倒的な支持を受けました。その理由として次のような意見がありました。
「周辺のまちなみがきわだっていい」
「ゴチャゴチャした町並みがすっきりした」
「マンション等がなく鉾町らしい町並みが素晴らしい」
「電柱ひとつでこれほど景色が変わるのかと驚きました」
「昔の写真を見る様で本当の京都です」
「鉾が引き立つ、視界を遮る電線が無くなりすっきりすると思つ」所によつては次のような意見もありました。
「電柱を消してもゴチャゴチャしている」



北観音山（現状）

「近代的なマンションや商業施設のあるせいかあまり変化を感じません」
「ビル・看板と電柱・電線の雑多な風景は、電柱を消す程度では変わらない」

電柱・電線を消したことで、町並みがすっきりして良くなった一方で、町並みの乱れがより意識されるところもあつたようです。
また、町並みだけではなく、「鉾の見栄えも良くなった」という鋭い指摘もあり、大変参考になりました。

また、「電柱・電線は幼い頃から慣れ親しんでいて、それほど気にならない」
「山鉾巡行曳手ボランティアです。電柱、看板がなくなると巡行しやすいです。路面も平ならもっと良いでしょう」という意見もありました。
景観シミュレーションやアンケートの詳しい内容は、次回五

回答者総数	173名	
項目別回答数（複数回答）	電柱・電線を消して印象がよくなった	769回答
	電線・電柱を消しても印象が変わらない	98回答
	電柱・電線を消して印象が悪くなった	33回答

月一九日「明倫夜話の座」で発表いたします。皆様のお越しをお待ちしています。

なお、「銚の道プロジェクト」は本年度の立命館大学理工学部演習課題として取り上げられました。その成果を皆様に見ていただく機会を設けたいと存じますので、お楽しみに。

平成十六年度

自治連合会総会開催

四月二十四日（土曜日）午後七時より、自治連遊戯室にて明倫自治連合会総会が開かれました。

新しい町内会長、各委員会の代表が出席されました。中京消防署より防災活動について、京都市道路維持課より都市交通の問題アンケートなどの説明の後、伊藤会長の挨拶と続き議題に入りました。

十五年年度の会計報告では、より分か



り易く、早い時期に各町内へ配布してほしいなどのご意見が聞かれましたが、会計報告は承認されました。

また、今年度は五条署より交通安全模範地区に選ばれ、通学児童にたいしての様々な行事が予定されています。六月二十五日には高倉小学校開校十周年記念行事も予定されています。

さて、今年度は昨年度より引き続き、明倫地域の「地区計画」へ向けて、伊藤会長を先頭に自治連合会が動き出しました。

地区計画とは地域住民自らが、地域将来の姿を創り上げていく指針とすべきものです（3ページ参照）。

その第一段階として各町内のマンションの調査が始まりました。

今後調査を順次行っていく予定です。同時に町内歴史文化、たとえば町内式目、昔の写真、文献などの調査を進めていきますので、それらの情報をまわづくり委員会までお知らせください。（三条町・井上255-7926）

最後に、明倫自治連合会会館をご使用の全ての人々に、奇数月の第四土曜

日午前十時より十一時まで全員で大掃除をすることに決定しました。最初は五月二十二日です。

掃除用具はあまりありませんので、皆様お手持ちの掃除用具をご持参の上、御集合願います。

平成十六年度自治連合会役員

会長 伊藤祥男 天神山町
副会長 吉田孝次郎 六角町

副会長 福丸明子 姥柳町
会計 市田昌生 炭之座町
総務 井上成哉 三条町

町会長（市政協力委員）

西錦小路町	塩月八重三
炭之座町	内片啓一
小結棚町	尾花芳治
観音堂町	中島克利
天神山町	田井滋一
菊水鉾町	佐藤銀一
占出山町	渡辺速雄
箒町	中西一貴
手洗水町	渡辺速雄
七観音町	栗田正雄
饅頭屋町	中島正博
骨屋町	坂倉寿一
烏帽子屋町	大田龍二
御倉町	木島温夫
了頓図子町	増田 茂
衣棚町	八田 章
釜座町	田中昭雄
三条町	大日健次
西六角町	永井義雄
玉蔵町	小杉忠雄
六角町	山田浩三
不動町	梅原一満
百足屋町	酒井英一
姥柳町	草野隆史
鯉山町	浅見儀明
山伏山町	村中正明
橋弁慶町	前田隆弘

社会福祉協議会 伊藤祥男 天神山町
民生児童委員会 寺江信子 六角町

共同募金委員会	伊藤祥男	天神山町
日赤奉仕団	平井佐太郎	橋弁慶町
保健協議会	井上清	釜座町
消防分団	永井義雄	西六角町
防犯推進委員協議会	浅見儀明	鯉山町
少年輔導委員会	島田喜久雄	百足屋
体育振興会	市田正生	炭ノ座町
文化協議会	小西満寿子	百足屋町
祭事委員会	中尾金次郎	天神山町
平安婦人会	木村十重子	骨屋町
八坂婦人会	岸本波留子	釜座町
遺族会	長谷川ふみこ	百足屋町
婦人会	福丸明子	姥柳町
交通安全委員会	井上高明	骨屋町
明寿会	岸本貞一	釜座町
身体障害者会	作道利彦	不動町
自主防災会	伊藤祥男	天神山町
まちづくり委員会	井上成哉	三条町
広報委員会	長谷川明	釜座町

五月十九日「銚の道」アンケート発表
京都芸術センター3階 ミーティング
ルーム2

昨年十一月の「まちなかを歩く日」に大広間にて立命館大学が制作された電柱電線を無くした新町通り景観シュミレーションのアンケート結果を発表します。

また同時に、関電 N T Tからも参加いただきその具体例についてもお聞きしたいと思えます。是非多くの皆様方のご参加をお待ちしております。

の指針を作成

- まちづくりのルールが必要

また マンション居住者など新しい住民と、町内会・自治連合会などとの関係が希薄なことが多く、地域でのおつきあい・町内会運営にとどまらず、防災面や防犯上の問題もできています。

明倫自治連・まちづくり委員会では、これらを学区の共通問題として捉え、地域の皆さんの知恵を結集して、まちの将来像（ビジョン）を描く中で、まちづくりのルールを定める必要があると考えています。

当面は、ビジョン実現へのまちづくり方針を、皆さんの合意のもとに「明倫まちづくりの指針（地区計画の方針）」として明確化することを目指します。

市としての都市計画と個々の建築基準との中間に位置する。

地区の特徴に応じたきめ細かいまちづ

くりルルを決めることが可能

地区住民の合意により、行政と協働してまちづくりを行う。

「地区整備計画」との2つの部分からなり、当初は「地区計画の方針」だけを定め、合意が得られた範囲から、段階的に「地区整備計画」を定めることができます。

地区（例えば明倫学区）を今後どのようなまちにしていこうかという、まちづくりのビジョン・方針です。

地区計画の方針に沿い、施設の配置・規模や建築物の建て方のルール等を具体的に定めます（左の例を参照）。

建物の高さを決めよう。

大切なめぐみの林を残しましょう。

ここは低い建物はダメ。

良く話してあって道路の位置と規模を決めましょう。

ここは住宅地です。工場はダメ。

ここは高い建物はダメ。

建物のへいは生垣にしよう。

ミニ開発はダメですよ。道路の位置も違います。

道路や公園の予定地に建物を建てるのは控えましょう。ここは商店街。1階部分はお店にしましょう。

歩道を広くするために建物をセットバックしましょう。

明倫学区では、今年度から来年度の前半にかけて、まず「地区計画の方針」を定め、それを都市計画決定することを目標にします。

```

graph LR
    subgraph Stage1 [1. 「明倫」の歴史と文化]
        direction TB
        S1_1[● 昔の写真 / 文献の発掘  
(町式目 / 地図など)]
        S1_2[● 「夜話の座」の開催など]
    end
    Stage1 --> Stage2
    subgraph Stage2 [2. 「まち」の現状と課題]
        direction TB
        S2_1[● マンションに関する調査  
(戸数 / 地域との関わり)]
        S2_2[● 「まちづくり資源」につ  
いての意見交換会の実施]
    end
    Stage2 --> Stage3
    subgraph Stage3 [3. 将来像とまちづくりの目標]
        direction TB
        S3_1[● 「明倫の将来」作文募集  
(小・中学生対象)]
        S3_2[● 「まちづくりの方針」検  
討会の実施]
    end
  
```

1. 「明倫」の歴史と文化

- 昔の写真 / 文献の発掘
(町式目 / 地図など)
- 「夜話の座」の開催など

2. 「まち」の現状と課題

- マンションに関する調査
(戸数 / 地域との関わり)
- 「まちづくり資源」につ
いての意見交換会の実施

3. 将来像とまちづくりの目標

- 「明倫の将来」作文募集
(小・中学生対象)
- 「まちづくりの方針」検
討会の実施

連絡先：井上（三条町） 255-7926

今年度は、上の図（今年の主な取組予定）のように、「将来像とまちづくりの目標」までをとりまとめます。



明倫夜話の座 第五回

北観音山 吉田孝次郎氏

北観音山のお町内、六角町でお育ちになった吉田さんとお祭のかかわりについてお話をいただきました。

昭和十七年に最後のお祭があり、その後は戦争のために巡行はされなかったが、お町内では「まつりごと」は行われており、お囃子も続けられていた。

戦後、昭和二十二年に長刀鉾と月鉾が巡行した。北観音山は翌年昭和二十三年に船鉾とともに巡行した。お父さん



懐かしそうに語る吉田さん

がそわそわしていたことが、このときのお祭であつた。囃子方の末座に連なつたのもこの年から。

戦後、縄がらみのやぐらの中でジャングルジムさながらに遊んだり、こどもたちにとつて山は楽しい遊び場だった。この頃は男女とも子どもに限っては山で遊ぶことができた。大人にとつても

大きな遊びの場であり、衣装の組み合わせなどを楽しんでた。他のお町内との装飾の違いを皆が意識していたけれど、お父さんからはよその町内のことを知らなくていいと言われていた。

北観音山のことに一生懸命のおとながたふさんいた。お囃子のお稽古を聴いていて、お町内の大人がテンポなどを教えてくれた。お父さんもお稽古の批評をしてくれたことがうれしかった。

囃子方については、昭和六年から囃子の保存会があり、町内在住で、男の子が生まれたら囃子をする義務と権利があつた。

今はガードマンに頼んでいるが、当時は寝ずの番があり、このときに大人の世界を垣間見ることができた。縦の社会があり、お祭というひとつの目的に向かつて皆が作業をしていた。お供については、吉田氏のお父さんは七十歳までもお供ができたことを喜んでた。片付けも飾り物については作事方に任すのではなく、家の主たちが片付けていた。

北観音山の飾り布に唐子が楽園に遊んでいる図がある。これは北観音山のテーマでもあるが、子どもたちが無事に

育ち、子々孫々の栄えを願っていることが現れている。戦後ベニシリンが日本に入り、病気を治すことが出来るようになったが、それまでは神に祈るしかなかった。子々孫々の栄えが約束されている象徴が唐子の図である。

明倫学区マンション紹介



『ローレルコート
LAFEL COURT 室町』

第一回

明倫学区内にあるマンションではどのような運営や活動が行われているのかマンションにお住まいの方に紹介して頂き、自治や住民交流などの情報交換の場になることをねがっています。



消防避難訓練中

所在地：中京区室町通六角下る鯉山町518番地
ローレルコート室町（略して、LC室町）は平成10年（1998年）2月から入居が始まりました。事業主は近鉄不動産・山中（株）で祇園祭「鯉山」町席の向いにあります。鉄筋コンクリート造地上10階建、地下は居住者用74台、来客用7台の駐車場です。間取りは2LDK：27戸、3LDK：87戸、4LDK：21戸、総戸数135戸のファミリータイプ・永住型で、24時間体制のセキュリティシステムを採用しています。
管理組合の理事会は組合員から理事9名、監事1名（毎年交代）の10名で構成、月1回理事会を開催、広報紙を発行しています。理事長（または理事長の承認者）

町内探訪

第六回

観音堂町

南北に走る新町と室町の間、そして東西の四条と錦小路の間の通りで、東は菊水鉾町、西は小結棚町、北は天神山町、南は月鉾町と隣接しています。路地なので

ほとんどの方がここに町内が在るとは思わないでしょう。でも祇園祭では、四方八方から祇園囃子の音が聞こえる賑やかな町内です。

町名の由来は、鎌倉時代（1192年～1333年）にここに観音堂（本尊は観世音八幡菩薩）があり、名を竜福寺（始めは浄土宗、後に禅宗へ）といたしました。由来は、法燈国師（1260年頃）が聖像（一刀三礼）に對座している異服の人がどこからともなく現れ『我は人に非ず神泉苑の善竜女なり』と言った。そこで国師が、この近くの民家では水がない為困っている、どうか水が出るようにと願いこれを聞き入れてくれた。その夜、寺の東に清泉が湧き出



した。

しかし、その観音堂（竜福寺）も天正時代（豊臣秀吉が全国統一）の町割で廃寺となりました。1492年（明応五年・コロンブスのアメリカ大陸発見）には『観音堂辻・・・』とあるので、この頃から町名として親しまれた地名だと思われまふ。

そして、世の中が太平の時代になると、色々な町名で呼ばれ移り変わる事になり、たとえば、1637年（寛永十四年・島原の乱）ごろには東くわんおんノヅシ、観音ノヅ子、くわんおん堂ノヅシ、撞木ヅ子、しもくのつしなどとなり、さらに1762年（宝暦12年）に『観音堂東ヅ子、俗に撞木ヅ子（しもくのつし）』と言われ現在に至る。ちなみに撞木ヅ子（しもくのつし）とは、通りの形が丁地路となっているので、丁度かねたたきの丁字棒によく似ているところから付けられたと言つ。そんな地形からか、長屋・番頭宅・別宅などが多く当時はセカンドハウスの要素があつたのかもしれない。

そう言えばわが町内には鉾・山がない（または属していない）がなぜか分らない、でも祇園祭（869年）の鉾巡行（1100年66基）一時中断）は1500年ごろから再興して行われているが・・・そこから思えば、当時は神社との関係から治外法権？はたまた町内に有力な商家がいなかったのか？路地だから作る余地がなかったか？今となってはわからないことがあ

は鯉山町内会副会長（財）鯉山保存会のLC室町代表者としての正会員、そして毎年の行司役を兼務します。任期は翌年3月までの1年。LC室町の居住者は意識高揚や防犯のための「あいさつ運動」を励行、自衛消防隊は防火管理者を隊長に毎年5月に中京消防署と明倫消防分団との連携のもとで「消防避難訓練」を実施しています。秋には西側緑地での柿狩りを行います。

ります

中心地のお寺としては、結構大きな敷地・建物であるがゆえに、観音堂（竜福寺）の跡地そのものが町内となった例と言えるかも知れません。



飲食店が建ち並ぶ街並み

現在、飲食・ルームマンション・問屋・事務所・住居等に使用されている。この記事は、本や親類として知人などからの資料を参考にさせて頂きました。

道家 秀明

ローレルコート室町と鯉山町

LC室町は鯉山町内会では、在住者・企業各社の類に対して、類（町会費は各戸1軒につき80円に設定）として位置付けられ町内第4組を結成しています。町会費がほぼ半額なので、町内会の行事に参加する場合、類の居住者は別途参加費が徴収されます。LC室町の加入で町内会の世帯数が増え、婦人会、子供会にも在住者・企業各社の方々と協力して、地藏盆の行事が復活し、秋には観光バスを利用してのレクリエーション、年末にはお楽しみ会が発足して活気あふれる鯉山町になりました。

鯉山町には、園芸クラブ、ホームペーパークラブ、http://www.koiyama.com、茶道クラブが順次発足し、LC室町の居住者と在住者・各企業の方々とつしよに和気藹々と毎月例会を開催しています。在住者・企業各社とLC室町とのシンク・タンクが協力して、「明るく楽しい鯉山町」を築いています。

ローレルコート室町と

（財）鯉山保存会

LC室町入居案内パンフレットに「ご入居の方は、（財）鯉山保存会・友の会への加入資格がありますので、保存会・友の会の会員として祇園祭りに参加が可能です。」と写真入りで記載されていました。入居後すぐに保存会の方より、「鯉山友の会」の説明会がありました。祇園祭中の諸行事に参加するには、「鯉山友の会」に入会する必要があります。

あり現在延べ55軒(約40%)が入会して、町席飾りや厄除けちまき・お守りの物販奉仕、ローソク売り、巡行のお供や後片付けの諸行事に参加しています。

LC室町の事業主が竣工時「鯉山友の会」会員用に巡行用の衣装セットを5着作られ、「鯉山友の会」の会員が順番に祇園祭巡行のお供に参加できるようになっています。伝統ある祇園祭「鯉山」を維持・保存・継承してゆくために、LC室町の居住者も祭りを遊び・楽しみながら積極的に協力しています。

ローレルコート室町と明倫学区

明倫自治連合会のボーリング大会、歩こう会、区民運動会、もちつき会ほか諸行事にもLC室町の居住者は積極的に参加し、地域住民の方々との関わりも良好になっています。

まちづくり委員会、明倫消防分団、体育振興会、明寿会、広報紙「明倫」の編集委員やフオークダンス部、コーラス部等にも参加して地域社会の活性化に貢献しています。新しく引越して来られた方も、屋内に閉じこもらないで、明倫学区の諸行事に参加され「新しく引越して来た者です。」と謙虚に言って参加すれば、在住の皆様はやさしくあたかく迎えてくださるのが明倫学区です。京都市の中心部でありながら歩いて廻れる所や歴史的史跡も数多く、便利で歩く範囲で生活のほとんどが賄えるのも魅力で、人情味豊

かな明倫 学区に住めることのありがたさを実感しています。

記・ローレルコート室町

赤井又三郎



「繭」

最近、家の前で繭を陳列してみました。通りを歩いている30歳前後の婦人が歩みより「まあ懐かしい繭だわ」。他にも「昔は(子供の頃)蚕を飼っていたわ」とかの反応が度々であります。30〜40歳代になりますと「何?これ」とか「食べられるの」とか「どう使つの」とか質問が飛び交います。絹糸の元になる繭ですとか、繭の持つ成分たんぱく質が人になじみやすいとか説明しますと「ヘーッ」と驚きの声。どうやらこゝ呉服の中心街で繭の原型は多くの人々に新鮮な感動を与えているようなのであります。まして生きた蚕となると見たことの無い

人々が多いのでは、と思えます。

同じく繭にまつわる子供達の反応は楽しい。繭を通りに陳列し始めて一週間くらいしたある日、数人の子供達が「わいわいがやがや」と集まっている。どうやら高倉小学校の生徒達で下校途中らしい。

「お帰り」と声を掛けると

「おっちゃん、これ何」と一人の子が質問。他の子も目を輝かせて答えを待っている。

はぐらかすように「今日の学校は楽しかったかい?」と尋ねますと

「うん、給食が美味しかった。全部食べた。」などそれぞれに答えが返ってきた。そこで目線を合わせ「これは繭と

いつて、お洋服の糸になるんだよとか「つの繭で学校からお家くらいの長さだよとか」説明していると「ふんへえ」と聴いているかと思えば子供達の視線は他のものに興味を示し、近くにある二本の透明のボトルに入った水に移る。片方は錆びて濁っているが

他方は濁っていない。

「何で」「なぜ」「どうして」と質問の嵐。最早その通りは理科の実験室に早や代わりするのであります。

その後下校の度に、私ごと「おっちゃん」を発見すると「お帰り」「ただいま」という挨拶があたりまえになり、繭をきつかけに小さなお友達がたくさん出来たのであります。

通りを行き交う人々に家の顔が見えて、お互いが顔見知りになり知人となりコミュニケーションが進んでいく。

子供達が教えてくれました。

玉蔵町 佐藤和男

『京都に住んで』

いま私は、きものの図案から始まって、生地選び、下書き、染め、その他の細かい加工、そして問屋さんに納めるまで、全ての工程に携わる仕事に就いている。この業界の伝統の凄みを肌で感じ、影響される日々の中で、なるべく若い人が何を感じ、何をもめているのか見失わないように心掛けています。今の自分、組織、社会に必要な課題、それは物をつくることから逃げない勇気を持つ事。最近私は、高校生の妹と同居して痛切に感じたことがあります。『感性は衰える。』連日

若気がない、おばさん的だと言われる。私だつて広島から京都へきた当初は、毎日が新鮮な驚きで一杯でした。目を見張る程素晴らしいものがひしめき合い、共存する世界で、過剰な主張性を持たず、内側に秘めた奥ゆかしい美しさの存在を知った時、京都の文化レベルの高さに一種の挫折感とモノづくりに対する勇気を無くしました。一生懸命に、胸のときめきを抑え、静かにその事象を見据え、鑑賞する。(当然感度は鈍り、時代に鈍感になりました)しかし、モノづくりの現場や、高校生は時代の声を敏感に受け止め、発散(爆発?)させる。綺麗に縫う事よりも、心が正直に欲し生み出されるもの...それこそ、時代の表現であり、声なの

だと思つ。そして、恵まれた事にその表現に近づける手法は、京都のいたるところに先人の智慧として控えている。その事に気づかせてくれた室町の環境に感謝しております。

玉蔵町 小川ふみこ

インフォメーション

「卓球で良い汗がこころ」

―卓球部―

今年の一月に五年ぶりに中京卓球大会に参加した明倫卓球部は現在7名・男4名・女3名で活動しています。メンバーは三十才から六十才と世代を超えて卓球を楽しんでいます。



お世話をしてくれてい

る堀さんは女性ですが鋭いスマッシュをビシビシと打ち込んでいきます。二台の卓球台を七人が十分交代で使っていますのでほとんど一時間は卓球漬けの運動量抜群の倶楽部です。

動が出来るスポーツです」と楽しそうに語られます。いまのところ、会費も無く、火曜日と土曜日の夜、七時半から九時くらいまで、元明倫幼稚園遊戯室で活動をしていますので、何時でも見学、入部はOKです。来年の中京卓球大会の優勝を目指して(?)、部員の増強を図っていますので入部は大歓迎!

是非、のぞいてみてくださいとのことでした。

連絡先は
市田炭ノ座町(二二―三三五六
堀不動町)三三―七九二九まで

「現代っ子の

体力不足を補つ」

―剣道部―

「やつー面んんー子供たちの元気な声が聞こえてきます。現在剣道部は子供十五名・大人五名男一名女二名の二十人が、元明倫幼稚園遊戯室いっばいに竹刀を振っています。

指導者の岡山さん(剣道四段)は三十五年前から本能学区の子供たちに現代の子供の体力不足を補つ目的で剣道を教え始め、本能小学校が廃校になってからは明倫の遊戯室で教えることになりました。今では広く高倉校区からも子供が来ています。お願いします。」「有難うございました」と礼儀についても教えてもらえ、毎年一月二日に初稽古が始まります。普段は毎週木曜日

の七時半より九時まで、黙想にはじまり、素振り、掛かり稽古と面を付けて勇ましく練習します。剣道着は自前ですが、防具は貸与で、会費は要らないとのこと。入会希望の方は連絡の上、当日遊技場においでくださいとの事です。

連絡先：岡山(二二―六六〇八



祭事委員会は 京都の発展

を祈る平安神宮の時代祭と 除難招福をお祈りする八坂神社の祇園祭の祭祀に学区代表として参加させて頂いております

特に祇園祭は 中心地の明倫として重責を考え伝統は守りながら 発展を願っています

七月は 一ヶ月にわたる祇園祭が有り

ます
十七日午前 山鉾巡行が盛大におこなわれ 夕方には 三基の神輿が町を渡御 お旅所へ

二十四日午前 花傘明倫より子供神輿同日夜は 三基の神輿がホイトホイトと 元気に三条を東へ 渡御します

秋の十月二十一日には平安神宮の時代祭が執行されます。京都千二百年のロマンを語る美しい歴史絵巻です。明倫学区は、本年大将を出す当番になっています。今年は新町通六角上る 奥井氏が選ばれて参加して下さいます。

秋の京洛を威風堂々と乗馬されますので是非応援をお願いします

お願い

平安神宮では桓武天皇の千二百年祭を迎えるに当たり、大鳥居の修繕を計画されました

お願いに参りました節は、ご奉賛下さいます様に

子供みこし会

近年、明倫学区に転居されて来られた方々は、祇園祭と言えはやはり

鉾が建ち始める七月十三日頃から十七日の山鉾巡行がメインのお祭りと思われている方が少なくはないのでは。実は祇園祭は七月から始まり、

一ヶ月にわたる行事が続く長いお祭りなんです。確かにクライマックスと言えは山鉾巡行と答える方がほとん



どであり、私もそう思っています。

そもそも長い歴史を持つ山鉾巡行、以前は先祭りと後祭りの二回ありました。それが昭和四十一年に人手、財政等、諸般の事情により十七日に一本化され、従来の二十四日には八坂神社関係者等の努力により、花傘巡行が行われるようになりました。

その花傘巡行の中に子供神輿の列があります。明倫学区や近隣学区の小学生が毎年、多数参加しています。

八坂神社の揃いのハッピを着て、男の子も女の子も三基(子供神輿は全部で八基あります)の神輿を汗をかきながら元気良く担いで巡行する姿はたくましくもあり、誠にほほえましい光景です。

地域の次代を担う子供たちが祭を通じて、その意義と地域の歴史を身をもって体験させてこそ伝統の継承が図られるものと思います。

今年も一人でも多くの小学生達が参加して下さいる事を願っております。

巡行コース

八坂神社→四条河原町→市役所
→寺町通→四条寺町→四条河原町
→八坂神社

巡行終了後に高倉小学校にて、子供も大人も一緒にお弁当を頂きます。

七月初めに高倉小学校を通じて担いでくれる小学生を募集します。

高倉小学校以外の小学生の方も明倫学区であれば参加できます。

詳しくは、巻出・衣棚町(一三二)六二五 までお願いします。

ボーリング大会

さる三月十四日明倫ボーリング大会が催されました。

125名もの参加申し込みがあり、盛大に嵯峨ニックボールで行われました。

ストライクを出すたびにお菓子がもらえるストライク賞も、今年は400個と種類も数多く出しましたが3ゲーム目の中ごろには全てなくなりました。

今年の総合1位は小学5年の烏帽子屋町 大田達也君で3ゲームトータル509点で男性1位の骨屋町 浅田一生さんのトータル481点を大きく上回り、小学生ながら素晴らしい成績でした。

男性2位は同じく骨屋町の浅田英夫さん、トータル471点でした。

女性1位は鯉山町の坂本はる香さん430点、2位は西錦小路町の高校3年の村田ちひろさんで417点でした。

北川・百尾屋町

スケジュール

芸術センター

5月22日明倫レコード倶楽部

開演時間未定 500円

5月29日 音楽と市民の広場 ジャズをお届けします

市川修、市川芳江ほか

19:00開演 前売1800円 当日2000円

高倉小学校行事予定

4/8 前期始業式・入学式

4/20 21 六年生修学旅行(伊勢)

5/11 春の遠足予備18)

5/19 授業参観&PTA総会

五月中旬～下旬 一年生田植え

(山科学校園)

6/4 プール授業始まり

6/6 休日参観

6/18 高倉小学校創立十周年

記念講演

6/25 創立十周年記念事業(記念式典・祝賀会)

7/17 8/24 夏休み

みさきの家(海) 五年生

10/3 運動会

10/8 前期終業式

10/12 13 秋休み

10/14 後期始業式

以上のように前期・後期の二学期制となりますので休み等の変更があります。

さらに今年度は、高倉小学校創立十周年となり、旧明倫小学校(七校)が統合されてから丁度十年の節目として、記念講演・記念式典・祝賀会が盛大に模様されますので御協力をお願いします。

詳細は回覧等で随時あんないされます。

編集後記

「明倫」創刊に際し編集の末席に加えていただき2年が経過した今期引退させていただきますことにしました。

何ほどの戦力にもならなかった反省と共に、この地に四十年住みながら知らないことがこんなにもあり、又年月と共に様々に変遷してきた明倫学区に少し入り込んで広報紙を通して皆様に発信する作業のお手伝いが出来たことは大変幸せな経験でした。

これからは愛読者として益々「明倫」が充実した広報紙に育って行くよう応援していきたいと思っています。

骨屋町・高谷

9/27 29

9/9 四年社会見学

9/3 授業参観

9/1 避難訓練

8/25 授業開始